鎌倉市ごみ処理基本計画中間見直し（素案）	意見等の概要	考え方・対応
５　市民会議 鎌倉ごみ行動チーム	・市民、事業者、行政、滞在者が一体となった3Rを推進する計画に賛成です。	市では市民、事業者、行政が一丸となってごみ問題を考え、行動することを目指す「鎌倉ごみ行動チーム」を市の呼びかけにより市民、事業者とともに設置し、市はその活動を支援していく予定です。 「鎌倉ごみ行動チーム」の活動内容は今後の話し合いにより具体化されますが、例えばさらなる生ごみ処理機の普及や、ごみ問題について知ってもらうためのイベント、ごみをできるだけ出さない飲食店のＰＲ等について活動することを想定しています。 健全なコミュニティの育成は、「鎌倉ごみ行動チーム」の基盤ともいえるものであり、いただいたご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。
	・市の街の中での話し合い、お互いに勉強することで意識の再発考を促すことが良いと思います。	
	・生ごみは唯一自分で処理をすることができるごみなのでまずは市民と供にどこまで取り組めるか考えていくことが未来の環境を鎌倉から変えていく第一歩になると思います。	
	・本素案では、市民の役割が述べられていますが、それ以前の課題として、健全なコミュニティの育成が重要ではないかと考えます。クリーンステーションへのごみ出しのルール遵守や管理あるいは大型生ごみ処理機の普及に関してもコミュニティ意識有ればこそ向上するのではないかと考えます。素案Ⅱ－４（２）（１０頁）の「市民、事業者、行政のパートナーシップによるごみの発生抑制、減量・資源化の推進」での「パートナーシップを深めつつ」の施策のひとつに位置づけられるのかもしれませんが、社会システム構築という視点から見た場合、無視できない課題だと考えます。	